

# 2017 南あわじ市教育講演会

## ご案内

連日厳しい暑さが続く今日この頃ですが、皆様方には、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

日頃は、わたしたちの教育活動に温かいご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。微力ながら、南あわじの教育の発展と、子どもたち一人一人の健やかな成長を願いつつ、日々の教育実践に努めています。学校では、「自然学校」「トライやる・ウィーク」「環境体験事業」「総合的な学習の時間」など、子どもたちに“生きる力”を育むための教育活動を行っています。それらの学習は“地域の教育力”が担うところが多く、今日教育が抱える様々な課題の解決をしていくためにも、保護者・地域住民・行政・教職員がお互いに手を携えてとりくんでいかなければなりません。

この教育講演会は、教職員だけでなく保護者のみなさま、地域の方々にもご参加していただき、共に教育の課題について考えることをめざしています。今回は、作家・甲南大学非常勤講師である佐倉智美先生をお招きし、「多様な性」をみんなの前提に ～LGBTの困難をつくらない学校のために～ と題し、お話をさせていただきます。子どもの幸せな自立を願うわたしたち大人ができることを一緒に考えるよい機会になればと思います。ご多用の中、恐縮でございますが、ぜひお誘い合わせのうえ、多数ご参加いただきますようご案内申し上げます。

2017年 7月12日 主催 南あわじ教職員組合  
後援 南あわじ市教育委員会  
南あわじ市小学校長会  
南あわじ市中学校長会

と き 8月27日(日) 受付 12:30～ 開会 13:00～

ところ 吉備国際大学地域創成農学部

演 題 「多様な性」をみんなの前提に  
～LGBTの困難をつくらない学校のために～

講 師 佐倉 智美 氏

(作家 甲南大学非常勤講師 NPO 法人 SEAN 理事)



### <講師紹介>

1997年、自らの「性同一性障害」を確信。自分らしく生きることを求め、社会的・文化的性別を「女」へと転換。インターネット上にWEBサイトを開設し、また、執筆・講演活動などを通じ、積極的に情報を発信されている。

著書に『性同一性障害の社会学』『明るいトランスジェンダー生活』『女子高生になれなかった少年』など。共著に、『性を再考する』にて「トランスジェンダーから見た性別二元制」、『社会学事典』で「性同一性障害」の項などを執筆。

現在、NPO 法人「SEAN」理事。甲南大学非常勤講師。関西社会学会およびGID学会に所属。各種市民セミナー、学校教職員・自治体職員の研修など、多数の講演・講義を行っている。また、日本女性会議2003大津での分科会、日本教育社会学会第62回大会、第59回日本小児保健協会学術集会の公開シンポジウム等々で、パネリストとしても登壇されている。

☆ 参加ご希望の方は、各学級担任または、南あわじ教職員組合書記局【42-5552】までご連絡ください。